

● 令和4年9月9日からトリチウム分析結果を公表開始

プレスリリース

令和4年9月9日
水産庁

水産物中のトリチウム分析結果の公表

水産庁は、ALPS処理水の海洋放出の前から、同処理水中に含まれるトリチウムの水産物への影響を調査し、その懸念を払拭するため、令和4年度から、新たにトリチウムを対象とする水産物のモニタリング分析を開始しました。
今般、この分析結果を関係省庁の海水モニタリング結果とともに公表します。

1. モニタリング分析の概要

水産庁は、北海道から千葉県のパシフィック側で水揚げされた水産物を対象にトリチウムのモニタリングを実施しているところです。
今般、分析した結果、全てのサンプルで1キログラムあたり検出限界値未満（0.3ベクレル未満）となり、過去の分析結果と同程度でした。

（参考）

トリチウムの性質については、以下の水産庁ウェブサイトにて公表しています。
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/saigai/attach/pdf/index-117.pdf>

2. 分析結果の公表

分析結果については、以下の水産庁のウェブサイトにて公表し、今後も分析結果の公表を随時行います。なお、トリチウムの分析には、1検体あたり1.5か月の分析期間を要することから、サンプル受け入れ時期と公表時期にタイムラグが生じることになります。
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

3. 関係省庁の分析結果

環境省や原子力規制委員会では、東京電力福島第一原子力発電所の近傍海域及び宮城県から茨城県の沿岸海域等において海域モニタリングを実施しており、以下のウェブサイトにてトリチウム等の分析結果を公表しています。

環境省

<https://www.env.go.jp/water/shorisui/committee/005.html>

原子力規制委員会

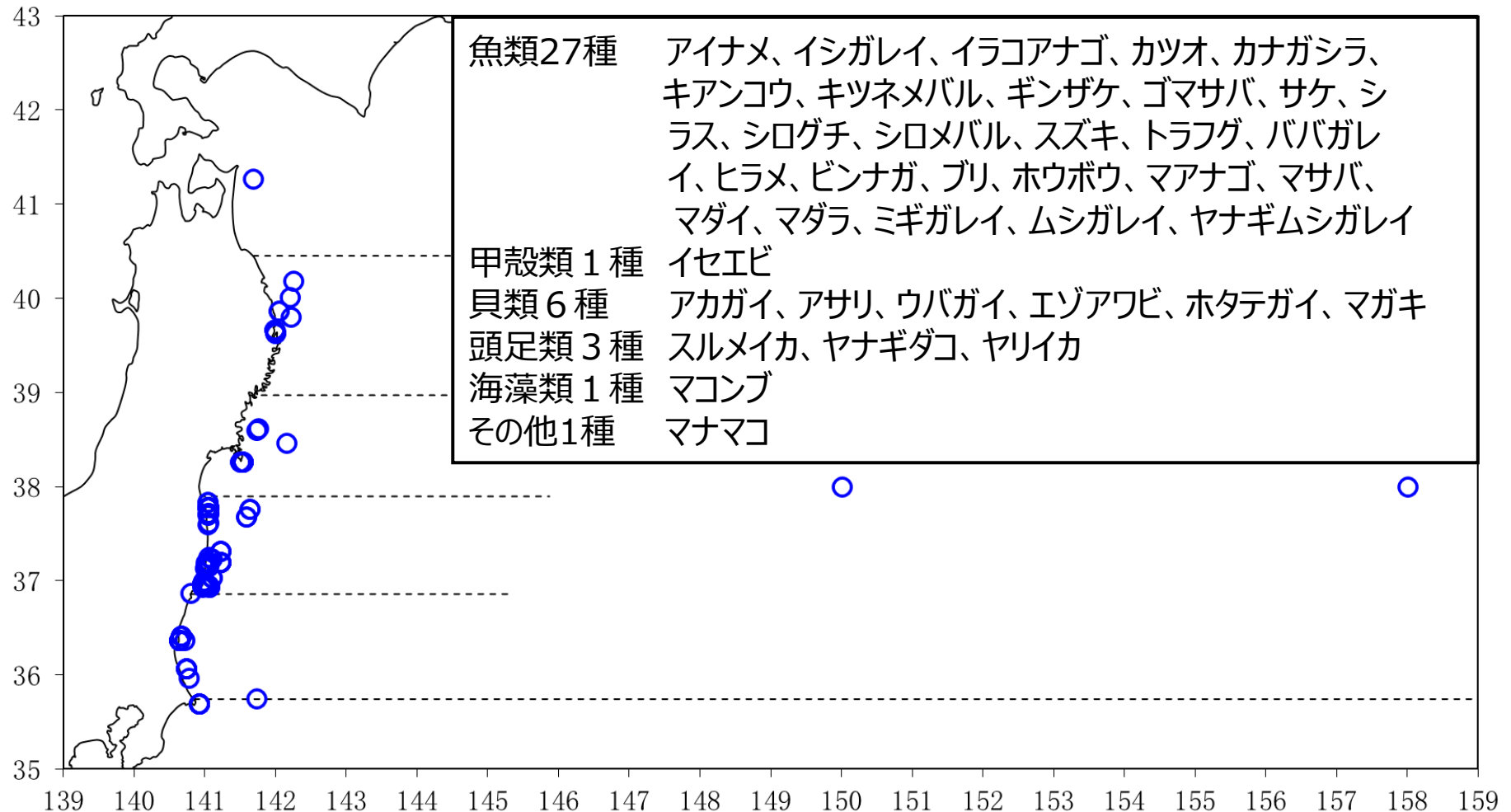
<https://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/428/list-1.html>

【お問合せ先】

増殖推進部研究指導課
担当者：中山、原田、稲田
代表：03-3502-8111（内線6782）
ダイヤルイン：03-6744-2030

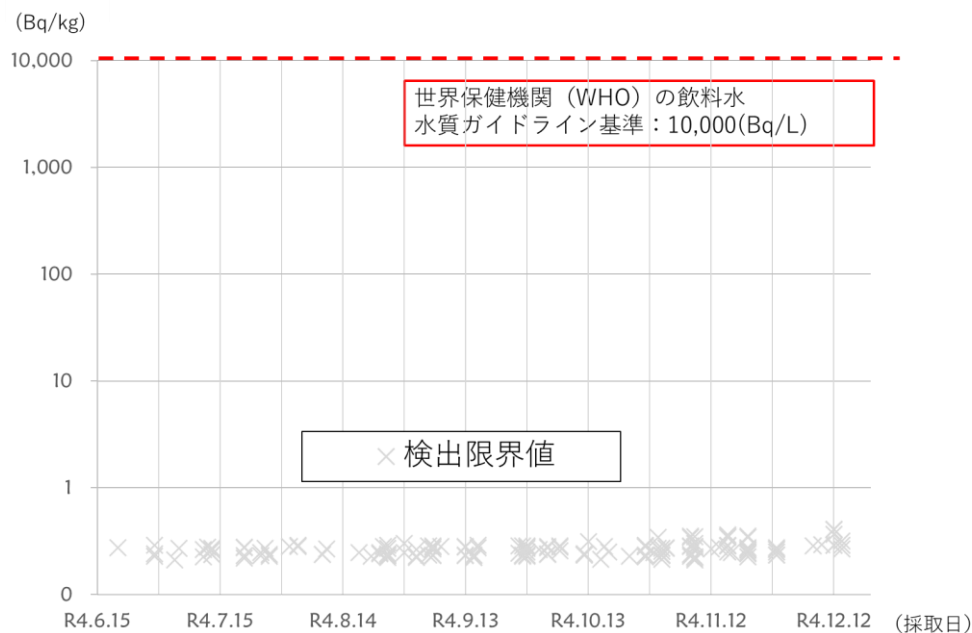
トリチウム分析結果①

- 令和4年6月から開始し、令和5年1月末時点で167検体の分析を実施しました

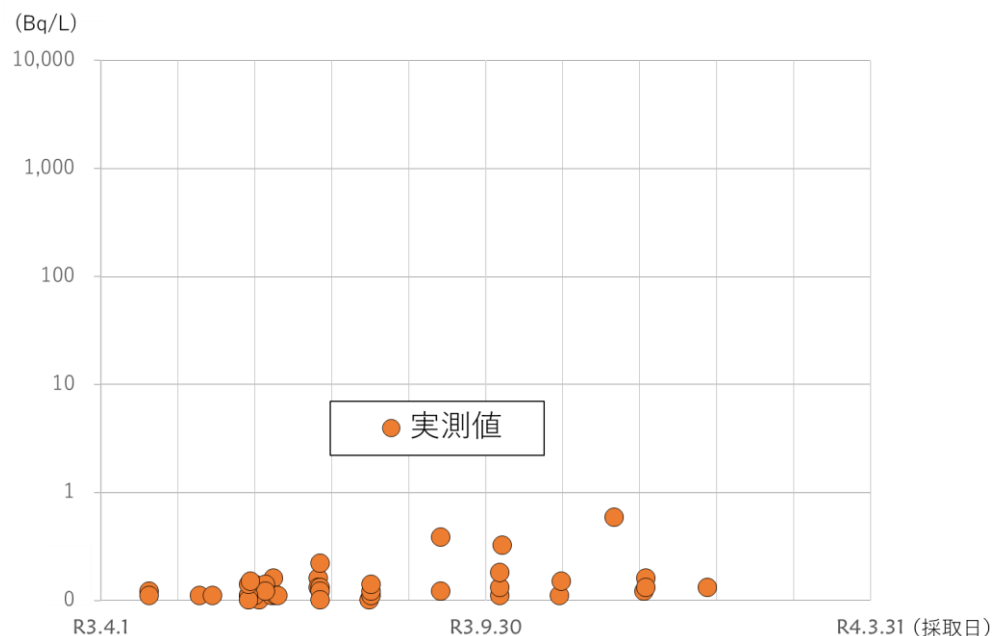


- トリチウムの分析結果は全て検出限界値（最大で0.408Bq/kg）未満で、海水のトリチウム濃度と変わらない（＝トリチウムは生物濃縮しない）結果となりました

組織自由水型トリチウム



【参考】海水のトリチウム濃度(2021年度)



出典：水産庁webサイト
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

出典：環境放射線データベース<https://www.kankyo-hoshano.go.jp/>

海水の採取地はデータのある北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県を記載

- 水産庁では放射性物質検査の結果をHPで公表しています

水産庁 [English](#) [ミッズサイト](#) [サイトマップ](#) [文字サイズ](#) [標準](#) [大きく](#)

[逆引き事典から探す](#) [キーワードから探す](#) [検索](#) Google 提供

[水産庁について](#) [政策について](#) [分野別情報](#) [報道・広報](#) [申請・お問い合わせ](#)

[ホーム](#) > [分野別情報](#) > [東京電力福島第一原子力発電所事故による水産物への影響と対応について](#)

水産物における放射性物質の影響とその対応



新着情報

- ❖ 「知ってほしい放射性物質検査の話」の英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、タイ語版を更新しました。（令和4年10月19日）
- ❖ 【データ更新】水産物の放射性物質調査の結果について（令和4年12月16日）
- ❖ トリチウム分析結果を公表しました。（令和4年9月9日）

水産物における放射性セシウムの検査について

- ❖ 直近の状況
水産庁では、関係自治体及び関係業界団体等と連携し、これまで約18万検体の水産物の放射性物質調査を行ってきました。
調査の結果、基準値（100Bq/kg）を超える割合は、過去2年間で6検体のみとなっています。
詳しくはこちら